

「人間尊重の経営」を支えるOR教育

—文教大学経営学部—

根本 俊男

1. 文教大学経営学部の概要

文教大学は「人間愛」を建学の精神とし、人を育て人を活かす「人間尊重の経営」を実践できる人材育成を担う経営学部を湘南キャンパス（神奈川県茅ヶ崎市）に2014年開設した。入学定員165人と首都圏私学の経営学部の規模としては大きくはなく、少人数教育が特長の一つになっている。情報学部経営情報学科を前身とするため、経営情報・経営科学の要素が自然に溶けこみ、科学的な問題発見・解決の技能を有す人材育成をディプロマポリシーに掲げORに関する教育に取り組んでいる。2021年4月には東京都足立区に新設する東京あだちキャンパスに移転予定である。なお、文教大学は情報学部も擁し、総合的な情報活用の下でのOR教育も展開されている。

2. 縦横に張ったORカリキュラム

文教大学経営学部では学生たちの将来の目標に合わせて、企業経営・公共経営・会計の3領域を設定している。その中でデータに基づく問題発見・解決の人材養成に関する教育を共通基盤と位置づけ、統計・情報処理・ORが三つの柱となっている。卒業要件は124単位だが、ここで56単位分と充実の学びを提供している。

その中身を紹介したい。まず統計に関しては、記述統計の話に始まり、推測統計、多変量解析の初歩までを段階的に学ぶ。次に情報処理技術は、Excelによるデータ処理、Accessを用いたリレーショナルデータベースの構築、Javaによるプログラミングなどを選択し学ぶ。三つ目のORは、データに基づく問題解決手法の概要を初年次に「問題発見技法入門」で学ぶ。その後は手法別に問題発見→モデル化・分析→意思決定の流れで学ぶ「縦糸」と対象別に利活用を学ぶ「横糸」が以下のように織り込まれた体系で提供されている。

- 【入門】1年次 問題解決技法入門（選択必修）
- 【技術修得】ORの手法を習得する科目
 - ・〈発見〉2年次 問題発見技法
 - ・〈分析〉2～3年次 シミュレーションモデル分析、ネットワークモデル分析、最適化モデル分析
 - ・〈意思決定〉3年次 意思決定科学
 - ・〈総合運用〉3～4年次 問題解決技法演習
- 【活用対象1】企業経営（主に生産／流通）を題材
 - ・2年次 スケジューリング、生産システム
 - ・3年次 ロジスティクス
- 【活用対象2】公共経営（立案／評価）を題材
 - ・2年次 政策科学
 - ・3年次 政策科学演習

手法（分野）によっては縦糸と横糸の両方で学ぶ内容も出てくる。たとえば、ゲーム理論は意思決定科学でも扱うが、政策科学でも扱う。手法としての学びと利活用としての学びは経営学部の学生に多角的な理解を促し、効果を発揮している。

上記に挙げた講義とは別に、問題解決の分野に興味を抱いた学生は3年次・4年次にはゼミナールに入り、より専門的な統計・ORの学習や、卒業研究に取り組む。

3. 人を活かすOR教育に向けて

特徴的な科目としては公共経営を意識して設けた「政策科学」・「同演習」が挙げられる。物事の決め方に関する科学的な知見を学ぶことで、人を活かす科学的な姿勢を醸成している。人間尊重の経営を実践する人材育成にORが寄与するプログラムの模索を続けている。

謝辞 文教大学経営学部堀田敬介教授、森一将准教授から有益な助言をいただきました。感謝申し上げます。

ねもと としお
 文教大学経営学部
 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
 nemoto@shonan.bunkyo.ac.jp